

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [横浜市立洋光台第一小学校] 担当教諭名 [小野崎 浩一] (6年 87名)

相手国・地域 [トルコ]

海外学校名 [Mimar Sinan Primary School] 担当教諭名 [Seda Altay]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト	4
	国語	国際平和と環境問題	5
	学活	国際交流	2

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	男女平等、ごみ問題、食品廃棄ロス
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	男女平等の社会で、限られた資源を大切にしながら、住み続けられまちづくりを実現しよう



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> SDGsの目標に照らし合せて、自分たちにできることを考えるようになった。 違う国と国とでも、問題に対する思いや願いは共通することが多いと知ることができた。 グローバルな視点から物事を考えようとするようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手校とのメールでのやりとりは教師が行った。本校児童と相手校児童と、具体的な個人を意識した交流ができればよかった。 オンラインでの交流ができるとよかった。 英語科や図画工作科と関連づけられるとよかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 世界全体への視点をもちつつ、具体的な国、具体的な学校があることで、国際理解が深まった。 テーマを設定することで、切実感をもって考えることができるようになった。 年間を通して継続して SDGsを考えることができた。また今後、中学校でも続けたいという思いをもてた。 	<ul style="list-style-type: none"> 国や地域が違っても、テーマに関する思いは共通する部分が多く、世界全体で考えたり解決したりしていきたいという思いをさらに強めることになった。 他国のよさを感じるとともに、日本のよさを再認識することができた。 児童の考えを知り、児童理解が深まった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	・学年集会で、アートマイルのねらいや流れについて説明した。それを模造紙にまとめ、学年の廊下に掲示した。(年間を通して掲示)	・外国との交流学习は初めてであり、関心をもてたようである。 ・具体的な相手国が分かり、その国について意欲的に調べた。	総合2
共有 テーマ学習	7月	・国際平和や国際的な環境問題について一人一人が考え、それを文章にまとめた。 ・テーマの焦点化を図った。	・一人一人が関心のある材について調べ、自らの経験も取り入れながら、自分の思いや願いを表現することができた。	国語5
融合 メッセージ作成	9月 10月	・本校の設定テーマについて相手校に知らせ、それについて意見を交流した。 ・相手校とテーマを共有した。	・相手校からは、男女平等についても考えたいという回答があった。これについて同じように考える本校児童もおり、壁画に盛り込むことにした。	総合2 休み時間
創造 壁画制作	11月 12月	・実行委員が壁画制作をすることにした。テーマにそって、自分たちの思いや願いを具体的に考え、それを壁画に表した。	・実行委員が中心となり、休み時間等に制作に取り組んだ。自分たちの思いや願いをどう壁画に表現するかアイデアを出し合っていた。	休み時間
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	・トルコから届いた壁画を鑑賞し、トルコの子どもたちの思いや願いを考えた。 ・アートマイルの経験を今度どのように生かしていくか考えた。	・SDGsの目標に照らし合せて、自分たちにできることを考えるようになった。 ・海外や、身近な人に発信したいと考えるようになった。	学活2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	・具体的な相手国があることで、異文化理解が深まった。テーマを設定することで、国は違っても共通する課題があることに気付くことができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	・テーマを設定する際に、自分たちの日常を振り返った。その際に、肯定的にとらえる社会的事象と、その逆に批判的に考える社会的事象があった。改善につなげたいという思いが強く、批判的に思考することができた。
主体的に考え行動する力	4	・身近であること、切実感があること等の中から、自分たちにできそうなことを、できることから始めていこうと考えた。その思いを委員会活動とも関連づけることができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	・海外の相手と1枚の壁画をつくる協働活動を興味深く感じていたようである。休み時間に壁画の制作をすることが多かったが、限られた時間の中で、楽しみながら取り組んでいた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	・一人ひとりが思いをもってはいるが、それを共有し、優先順位を考えたり、焦点化したりすることは難しかったようである。教師が相手国の教師とメールで意見交換したことを児童に伝えていった。